

編集後記

去る4月1日に日本医学会連合から「フレイル・ロコモ克服のための医学会宣言」が発表されました。ロコモを扱う整形外科医にとって重要な内容なので本稿でも取り上げさせていただきます。

元々は2019年に開催された第155回日本医学会シンポジウム「超高齢社会における医療の取り組み—ロコモ・フレイル・サルコペニア」を契機に、領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けたワーキンググループ（中村耕三先生座長）が設置されたのが始まりで、その活動の集大成の1つとして今回の宣言の運びとなりました。ワーキンググループのメンバーは、シンポジウム組織委員会を中心に、日本老年医学会、日本整形外科学会、日本サルコペニア・フレイル学会、日本運動器科学会、日本リハビリテーション医学会のメンバーと診療科横断的に組織され、「人生100年時代」の健康寿命延伸の対策を協働して講じていこうとする趣旨です。

宣言は下記の4項目からなります。(1)「フレイル・ロコモは、生活機能が低下し、健康寿命を損ねたり、介護が必要になる危険が高まる状態です」、(2)「フレイル・ロコモは、適切な対策により予防・改善が期待できます」、(3)「私たちは、フレイル・ロコモ克服の活動の中核となり、一丸となって国民の健康長寿の達成に貢献します」、(4)「私たちは、フレイル・ロコモ克服のために、国民が自らの目標として実感でき実践できる活動目標として80歳での活動性の維持を目指す「80GO（ハチマルゴー）」運動を展開します」

(1)と(2)はフレイルとロコモの概念の説明と予防・改善による効果の説明です。(3)は私たちが活動の中核となって国民の健康長寿の達成に貢献するという決意表明で、(4)は活動目標として「80GO（ハチマルゴー）」運動の展開を謳ったものです。「80GO（ハチマルゴー）」運動とは、80歳で歩いて、あるいは車いすでも自力で外出できる状態を示し、これを一つの目安として国民的気運を高めていこうというものです。フレイルとロコモは概念的には異なりますが、健康寿命の延伸という目標は同じですので、今後の運動器疾患への啓発が一層進むことが期待されます。

さて、今月の特集は東京都立墨東病院の山川聖史先生にご企画いただいた「整形外科医による整形外科医のための漢方入門」です。私も含めて多くの整形外科医にとって漢方に関する知識は限られており、ごく少数の限られた漢方薬を処方するにとどまっているのではないのでしょうか。一方、漢方に関してもっと知りたいと思っていてもどのようにアプローチしていいかわからない整形外科医も少なくないと思います。山川先生はその序文の中で「内科・外科医や麻酔科医でなく、普通の“整形外科医による、整形外科医のための”漢方入門を企画した」と述べられています。今回の特集を通じて、漢方の知識を深めていただき、日常診療に是非お役立ていただきたいと祈念します。

（中島康晴）

「整形・災害外科」第65巻 第6号（5月号） 2022年5月1日発行（毎月1回1日発行） 定価 2,860 円（本体 2,600 円＋税 10%） 年間購読料金 定価 44,660 円（本体 40,600 円＋税 10%） 〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03 (3811) 7165〔編集室直通〕 TEL 03 (3811) 7184〔営業部直通〕 FAX 03 (3813) 0288 www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 日本医学広告社 TEL 03 (5226) 2791
--	---

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。